

## 第16回都市経営セミナー

# 人口減少時代のまちづくり とファシリティマネジメントの展望

- 主催 公益財団法人日本都市センター
- 後援 全国市長会、公益社団法人全国市有物件災害共済会
- 日時・場所 平成26年7月18日(金) 14:00~17:10  
日本都市センター会館 5階 オリオン
- 申込締切 平成26年7月11日(金) (※定員に達し次第、受付終了とさせていただきます)
- 参加費 無料
- 趣旨

近年、わが国の急速な人口減少に関する推計が相次いで公表され、社会の注目を集めるようになってきている。これまで人口が増え、都市が拡大するのが一般的であった時代には、数多くの公共施設やインフラ（上下水道や道路等）が、まちづくりの一環としても全国津々浦々にまで整備がなされてきた。しかしながら、わが国では今後数十年に渡って急激な人口減少局面を迎えるものと予測されており、多くの都市は公共施設を過大に抱えるようになり、その維持・保全にかかる財政負担が大きな政策課題と見なされるようになってきている。加えて、一昨年発生した中央自動車道の笹子トンネルにおける天井板落下事故に象徴されているように、これらのインフラの中にはその管理体制が不十分なものもあり、これもまた喫緊に対応すべき政策課題となっている。

こうした課題に対応すべく、より効率的な公共施設等の維持管理や適切な保有に向け、各自治体では独自に保全計画の策定や施設の統廃合を行うなど、いわゆるファシリティマネジメントを導入する動きが見られるようになってきている。しかしながら、都市の住民の観点からすれば、こうした公共施設等の再配置や適切な保全もまた、植林による環境との共生や福祉施設への転用といった形で住民に資する「まちづくり」というより大きな枠組みの中に位置づけていくことが今後より一層重要となってくると考えられる。

そこで、本セミナーでは「人口減少時代のまちづくりとファシリティマネジメントの展望」をテーマとし、人口減少期の都市自治体におけるまちづくりと公共施設等の維持管理の適正化や公共施設の再編、利活用等における課題と対策について議論を行うことで、これからの都市におけるまちづくりとファシリティマネジメントのあり方を展望する。

### ■ プログラム

- 14:00 基調講演 大西 隆 豊橋技術科学大学学長・日本学術会議会長・東京大学名誉教授 (50分)
- 14:50 講師講演 中川 雅之 日本大学経済学部教授 (20分)  
山本 康友 首都大学東京都市環境学部客員教授 (20分)
- 15:40~17:10 パネルディスカッション「人口減少時代のまちづくりとファシリティマネジメントの展望」(90分)  
(コーディネーター) 中川 雅之 日本大学経済学部教授  
(パネリスト) 松田 知己 秋田県美郷町長 (うち パネル報告 (20分))  
諫山 和仁 福岡市財政局理事 (うち パネル報告 (20分))  
山本 康友 首都大学東京都市環境学部客員教授  
藤田 由紀子 専修大学法学部教授

※パネルディスカッション(15:40~17:10)では、前半は自治体関係者による報告、後半はパネリスト全員による討論(50分:質疑応答を含む)を行います。

# 講師紹介

## 基調講演

大西 隆(おおにし たかし)

豊橋技術科学大学学長・日本学術会議会長・東京大学名誉教授

1980年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、長岡技術科学大学助教授、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授、慶應義塾大学特別招聘教授などを経て、2014年より現職。専門分野は国土計画・都市計画・地域計画、社会システム工学・安全システム。博士(工学)。主な著書に『逆都市化時代—人口減少期のまちづくり』(単著、学芸出版社、2004年)、『人口減少時代の都市計画』(編著、学芸出版社、2011年)などがある。従来よりわが国における急激な人口減少時代の到来に着目し、それを都市の停滞ではなく、都市における生活の質向上を図る好機とするにはどのようにすればよいかという観点から、そのための処方箋を提示してきた。

## 講師報告

中川 雅之(なかがわ まさゆき) 報告講師／コーディネーター

日本大学経済学部教授

1984年建設省(当時)入省後、大阪大学社会経済研究所助教授、国土交通省都市開発融資推進官などを経て、2004年より現職。専門は都市経済学。博士(経済学)。国土交通省「公的不動産の合理的な所有・利用に関する研究会(PRE研究会)」座長などを歴任。著書に、第46回日経・経済図書文化賞を受賞した『都市住宅政策の経済分析 都市の差別・リスクに関する実験・実証的アプローチ』(単著、日本評論社、2003年)などがある。なお、昨年度の当センター事業「都市自治体におけるファシリティマネジメントに関する研究会」では座長をお務め頂いた。

山本 康友(やまもと やすとも) 報告講師／パネリスト

首都大学東京都市環境学部客員教授

1970年東京都に入庁。東京都財務局コスト管理室長、技術管理担当部長、工学院大学非常勤講師などを経て現職。専門は建築生産、ファシリティマネジメント、地球環境対策。博士(工学)。著書に『パブリックFM実践ガイドブック』(共著、日本ファシリティマネジメント推進協会、2008年)などがある。なお、昨年度の当センター事業「都市自治体におけるファシリティマネジメントに関する研究会」においては委員をお務め頂いた。

## パネルディスカッション

松田 知己(まつた ともみ) パネル報告者／パネリスト

秋田県美郷町長

1986年東北大学農学部卒業後、秋田県庁に入庁。1996年9月に県農業試験場主任を退職し、同年10月、仙南村助役に就任。2000年8月に仙南村長に就任。2004年の市町村合併に伴う美郷町長選で当選し、美郷町長に就任。現在3期目。同町では、2009年より合併後にその役割が重複するようになった公共施設や学校の再編・統廃合を実施したが、その際には住民への情報開示並びに意見把握に意を払い、細やかに取り組みに反映させていった。

諫山 和仁(いさやま かずひと) パネル報告者／パネリスト

福岡市財政局理事

1978年九州大学工学部卒業後、福岡市役所に入庁。道路下水道局水環境整備部長、道路下水道局計画部長、港湾局建設部長などを経て、2014年4月より現職。同市では、財政局内にアセットマネジメント推進課を設置し、財源との連動性を高めて福岡市アセットマネジメントの実施を確実なものとしている。さらに、施設管理者への技術的な支援の実施や、インフラの長寿命化に向けた点検・補修の計画的な実施など、ファシリティマネジメント等を推進するための体制が整備されてきている。

藤田 由紀子(ふじた ゆきこ) パネリスト

専修大学法学部教授

1999年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了後、専修大学法学部専任講師、准教授を経て2011年4月より現職。専門は行政学、公共政策。博士(法学)。著書に『公務員制度と専門性—技術系行政官の日英比較』(単著、専修大学出版局、2008年)などがある。なお、昨年度の当センター事業「都市自治体におけるファシリティマネジメントに関する研究会」においては委員をお務め頂いた。